令和5年12月八峰町議会定例会会議録（第3日）

令和5年12月15日（金曜日）

議事日程第3号

令和5年12月15日（金曜日）午前10時開議

第1 会議録署名議員の指名

第2 日程の追加について

第3 一般質問

追加日程第1 議案第96号 工事請負契約の締結について

追加日程第2 議案第97号 令和5年度八峰町一般会計補正予算（第8号）

第4 発議第11号 安全・安心の医療・介護実現のために人員増と処遇改善を求める
意見書

第5 常任委員会の閉会中の継続審査について

第6 議会運営委員会の閉会中の所掌事務の調査について

第7 常任委員会の閉会中の所管事項の調査について

出席議員（11人）

1番 笠原吉範	2番 伊藤一人	3番 奈良聡子
5番 水木壽保	6番 菊地薫	7番 腰山良悦
8番 見上政子	9番 須藤正人	10番 門脇直樹
11番 山本優人	12番 皆川鉄也	

欠席議員（1人）

4番 芦崎達美

説明のため出席した者

町長 堀内満也	副町長 田村正
教育長 鈴木洋一	総務課長 和平勇人
税務会計課長 成田拓也	企画財政課長 高杉泰治
福祉保健課長 石上義久	教育次長 山本節雄

学校教育課長	山内章	産業振興課長	山本望
農林振興課長	堀内和人	建設課長	浅田善孝
農業委員会事務局長	内山直光	生涯学習課長	今井利宏
あきた白神体験センター所長	菊地俊平	防災まちづくり室長	工藤善美

議会事務局職員出席者

議会事務局長	佐々木高	議会事務局庶務係長	須藤佳奈子
--------	------	-----------	-------

午前10時00分開議

○議長（皆川鉄也君） おはようございます。

昨日に引き続き、4番芦崎達美君から体調不良による欠席届が提出されておりますので、ご報告いたします。

傍聴者の皆さん、最終日まで大変お疲れ様でございました。よろしく願いをいたしたいと思います。

ただいまの出席議員数は11名です。定足数に達しておりますので、これより会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第124条の規定により、7番腰山良悦君、9番須藤正人君、10番門脇直樹君の3名を指名します。

日程第2、日程の追加についてを議題とします。

議事日程の追加につきましては、議会運営委員会に諮問し意見を求めておりますので、その結果を議会運営委員長より報告願います。水木議会運営委員長。

○議会運営委員会委員長（水木壽保君） おはようございます。議会運営委員会の委員長の水木でございます。

ご報告申し上げます。

当委員会では、本日、議長同席のもと、議会運営委員会を開催し、議事日程の追加について協議いたしました。

その結果、議案第96号と議案第97号を本日の日程に追加し、議題とすることに決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） お諮りします。ただいまの議会運営委員長報告のとおり、議事日

程を追加し、議題とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。したがって、議会運営委員長報告のとおり議題とすることに決定しました。

日程第3、一般質問を行います。

順番に発言を許します。11番山本優人君。

○11番(山本優人君) おはようございます。議席番号11番山本でございます。

通告に基づき、一般質問いたします。

はじめに、巡回バスの運用について。

昨年10月から運行されました。されてから1年経過しました。人口減少が進む当町が現状の運行体制で維持できるのか、また、運行に関する利用者からの不満に対し、どう対処するのか、利用実態を聞いて質問するものであります。

八峰町は行き止まり集落が多い地域にもかかわらず、ルート設定に関して、現在の環境のもとでは最良のルートであると思えますし、何ら異議あるものではありません。しかし、基本的な巡回バスの運行の考え方としては、行政が直営する場合には利益を目指し民間の事業者と異なり、その採算を度外視した事業での運行経費のほとんどを町が負担して行うことから、町民のサービスが目的であり、そのサービスにおいて町民の間に不公平感があってはなりません。

町が秋北バスの乗り入れをやめ、町が自ら運行する巡回バス事業を全町民の負担で運行する方法は、全町民が町内であれば一律の定額料金で乗り降り自由に移動できる手段をつくることであることとあります。それが町内にある診療所、金融機関、商店、温泉施設などを利用すること、町民が稼いだ金は町内で使うことが町内での資金循環と人の移動に伴う地域のにぎわいをもたらす、町の活性化に繋がることになるとは思いませんか。

自分は、町内であれば100円で誰でもどこにでも自由に乗り降りできるバスとの認識と捉えていました。それが地域によって距離に関係なく一律の定料金の設定で能代にも往復できる環境が整い、高齢者が免許を返納しても移動が可能になるほか、利便性の高まるものとして期待していたのですが、残念ながら利用者区分、すなわち町民の間に差を設けたことが利用者間に大いなる不満をもたらしていること、住民間の感情対立に発展していることを認識しているのでしょうか。

巡回バスの決定もすぐに八森地域を含む無料区間に該当しなかった巡回バス利用者数

人に聞いたところ、「なして同じ町民なのにおらだば100円、あらんどだばただだと、おがしぐねえが」と、「巡回バスだもの同じでねえば駄目だべ」と意見され、会うたびごとに言われます。

巡回バスの目的は、公共交通機関が少なく、移動不便な町内を一律の定額料金で自由に乗り降りできる行政サービス事業であるべきことから、運行して1年たった、1年間の利用者数、移動の目的など、移動の実態はどうだったのか。運行ルート、時間、料金等に係る評価をどう捉えているのか。運行時間、本数、料金の意識はどう思っているのか。そして、今後どう動く意向なのか。さらに満足度向上に向けた運行を維持、確保、利便性向上及び利用者増加に向けた改善や見直しを考えているのか、質問いたします。

次に、町の魅力等の開発について。

関係人口・交流人口の拡大は、地域に何度も訪れて関わりが強くなっているうちにその地域の親しみや思いが深くなり、将来的には定住化に繋がるとの考えで進めている取り組みです。最近では地域の人との関係性を築こうとしない土地居住者も多くはなっていますが、ふるさと納税などの影響もあり、実際に気になった地方に旅行に行ったり、地域の祭りに参画したりという動きが見られるようになりました。必ずしも移住は必要ではないですが、まずは関係人口として地域の関わりを深めていくことが大切であると考えます。

町として、観光で来る人に次に訪れる時には住民との交流できるイベントに参加の機会を設けたり、ふるさと納税で応援する町を旅先に選ばれる町に、そして町の特産品を買うきっかけになるようにしなければなりません。私たち町民ができる行動は、興味持てる場所をつくることのために地域の宝の発掘、あるいは特産品開発づくりに参加や協力することであると考えます。

持続できる町の将来のためには、魅力あるスポットや特産品、キャンプ、サイクリング体験など体験メニューや、お土産品の開発による町への関心と情報発信を高めることが重要であると考えます。これから迎える新年度にあたり、町の魅力発信の取り組みの考えを質問いたします。

以上2点であります。よろしく申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。
堀内町長。

○町長（堀内満也君） おはようございます。山本議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、「巡回バスの運用について」であります。

まず、1点目の「利用者数、移動の目的等」についてであります。昨年10月から本格運行いたしました巡回バスの今年9月までの1年間の利用者数につきましては、いずれも延べ人数で、大久保岱・岩子・畑谷ルートが1,785人、大信田・石川・強坂ルートが1,281人、内荒巻・石川・比八田ルートが826人、岩館・目名湯ルートが4,489人、海岸沿いの岩館・目名湯・本館ルートが2,813人となっており、合計で1万1,194人が利用しており、1カ月当たりの延べ利用者数は933人となっております。

移動の目的等につきましては、往路である道の駅みねはま方面への運行に関しては、各路線とも多くの方が道の駅みねはまで降車していることから、能代市への通院や買い物への利用が考えられるほか、復路の岩館方面への運行を見ると、ハタハタ館への利用も増加しております。

また、「運行ルート」につきましては、海岸沿いの岩館・目名湯・本館ルートを利用している一部の方から、本館停留所で乗り降りする方がいないことや、役場が土曜日閉庁していることからルートから外せないかという声が聞こえております。

本館停留所や土曜日の役場停留所については、これまで利用者がいないことから、交通空白地を解消するという観点や最適なルート設定などを踏まえつつ、利用者の声を聞きながら、運行の在り方を幅広く検討してまいります。

また、運行時間につきましては、能代厚生医療センターへ8時20分までに到着することを目的に設定したことから、問題はないものと認識しているほか、本数につきましては、往路、復路ともに3本ずつではあるものの、午前便、午後便のバランスは十分に取れているものと考えております。

一方で、料金につきましては、バス事業者から、燃料費の高騰等により運賃改定が見込まれていると聞いており、こうしたことを踏まえ、今後、町としても利用料金の改定について検討していく必要があると考えております。

いずれにいたしましても、公共交通につきましては、環境等の変化に応じ運行内容を変更しなければならない事業であると認識しており、将来的には能代市内までの直通も含めて検討するなど、今後も利便性の向上に一層努めてまいります。

次に、「町の魅力等開発について」であります。

人口減少や少子高齢化が急速に進む本町において、関係人口や交流人口の拡大を図ることは、経済効果を伴いながら人流を創造し、ひいては定住人口の創出、地方創生の実

現へと繋がる大きな可能性を秘めております。

議員ご指摘のとおり、関係人口や交流人口を拡大させ、移住者を増やしていくためには、地域が有する観光資源や強みを再認識し、それを町内外に発信していくことが重要であります。

このため町では、これまでに観光協会や地域おこし協力隊等と連携し、首都圏での観光PRや移住相談会、特産品の開発や販売に加え、民間住宅を移住希望者に向けて改修する空き家改修事業等を継続的に実施しているほか、移住・定住希望者をターゲットにした観光・田舎暮らし体験ツアーや、ユーチューブ等を活用した動画配信事業にも取り組んできております。

また、令和3年度からは、本業に携わりながら田舎暮らしを体験する「半農半X事業」をスタートさせており、この3年で県内外から約30人の方々にご参加いただき、関係人口として地域との関わりを深めております。

さらに、今年度に入ってから、コロナの影響により自粛していた各種イベントが順次再開しており、白神山地の世界自然遺産登録30周年を記念した散策イベントを実施したほか、アワビの里づくり祭りや白瀑神社のみこしの滝浴びも多くの観光客でにぎわったところでもあります。

しかしながら、八峰町を訪れる観光客の多くは、複数の観光スポットを短時間で回る通過型観光であり、今後、経済効果の高い「体験型観光」や「滞在型観光」、「交流型観光」を推進していくためには、白神山地をはじめとする豊かな自然資源を生かした魅力的な体験・交流メニューの開発や付加価値の高い選ばれる商品づくり、インバウンド需要に対応できる体制づくりが必要であります。

併せて、これまでも交付金等を活用しながら、様々な観光施策や移住・定住施策等を展開してきたものの、膨大な観光情報等があふれる中で他地域との差別化を図るまでには至らず、その効果は限定的であります。

今後、町では、地域住民や地元事業者等を巻き込みながら、既存観光資源の再確認と磨き上げを行っていくとともに、コロナ禍で変化した観光トレンドに対応し、登山やキャンプ等を主体としたアウトドア・ツーリズムを推進していくほか、課題となっている冬季の誘客につきましては、商工会やガイドの会等と連携しながら、「冬キャンプ」や「冬の留山散策」など、雪国ならではの体験メニューの開発に向け検討を進めてまいります。

また、対外的に知名度・注目度の高いサーモン養殖事業や、旧湯っこランドを利活用するリノベーション事業、今年3月にオープンした日本酒の醸造所を併設したカフェなど、地元の若者や民間事業者等が取り組む新規事業を支援しつつ、これらと連携していくことで、魅力的な観光コンテンツや特産品等の開発に努めてまいります。

特に、先日行われました「町づくりと経済の未来を創る協議会」の検討テーマであった特産品の開発については、お土産が観光地の魅力を伝える重要なプロモーションツールであることを踏まえ、町内外から幅広くアイデアを募り、地域ブランド商品の早期開発に向け検討を加速してまいりたいと考えております。

さらに、ほかの観光地においても積極的に情報発信が行われていることを踏まえ、町内観光事業者を対象にしたアンケート調査を行い、ターゲットとする観光客の属性やニーズ等を的確に把握・分析した上で、観光客に対して当町の魅力を効果的かつタイムリーに伝えるため、観光パンフレット等の全面見直しや、今年から試験的に導入している観光イベント等の動画配信の継続などについて検討してまいります。

加えて、今月20日には、株式会社モンベルとアウトドア活動を通じた地域活性化などを目的とした包括協定を締結する予定であり、今後は、この協定を最大限に生かしながら、積極的に地域の魅力を発信してまいります。

○議長（皆川鉄也君） 11番議員、再質問ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） はじめに、八峰町の人口、約6,300人です。それに対してですね、約1万2,000弱の利用者ということであったわけですが、割るとですね町民1.8回乗ったと、利用したということではありますが、そのほかに月930人程度。当初の予定では月1,000人ぐらいであったと思いますが、まあ人口も減っている中で横ばいかなとは思いますが、これについて町長としては、この実績についてどう判断しているのでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 利用実績につきましては、概ね想定どおりといったところでございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） どのぐらい、町民2回転すればいいのか3回転すればいいのかというのは私も何とも言えないところですが、ただ、今後この900人、まあ当初予定されていた1,000人がですね、月、まあ1,000人が1,200人、1,300人とこう増えてい

けば、まあ順調に使ってるんだなというふうに思うわけですが、なかなか判断が難しいなということでもあります。

これについて増やすという方法は私なりに後で提案したいと思いますけどもね、まず次に、その途中演台に立った時の質問の中に、私は料金差が地域の乗車位置によってですね、無料のところと100円払わなければならないところがあるということで、これを問題にしたつもりですけども、その回答が具体的にはまだないわけですが、この辺について町長は聞いてはいると思いますけどもね、改めて私、説明しておきたいと思います。

料金の設定がですね、能代の病院通いを主に考えた偏った考え方から私は出発しているんじゃないかなと。しかもですね、試験運用していた期間は無料で実施してあったわけですね。ですから無料というものに慣れてしまって、100円すら払いたくないというか、100円も出したくないという感情をつくってしまった。実際には値上がりしたのは一番安いところで10円ですよ。で、沼田の人が、まあ一番近い沼田、70円。こういう人方が70円上がるということに対して不満を持つのかなということ、沼田の人とその近くの田中の人に聞いてみました。まあ、ただの方いいに決まっています。ですが、徳のある人だかもしれませんが、「おらだば恥ずかしして同じバスさは乗られね」と、片や100円払って、おらはただだと、それについては非常に負い目を感じるというふうなことを言っていたわけですよ。もちろん、簡単に言うと八森地区の人は100円払うし、峰浜地区のこっちの近い方の人はただ、こういう2つの料金差のある人が同じバスの中に乗って、やっぱり金払わないとこ見るとですね感情的になってるわけですね。しかも、もう一つは、まあこれは交通機関の取りやめっていうか、公共交通の仕組みで新路線をつくったがゆえにですね能代の一部を走らざるを得なくて、その住民も拾っていくということで無料にしたという意味は分かりますけども、それにしても、それについてもやっぱり感情的にあるわけですよ。何で能代の人ただだと。ルートはいいけども、やっぱりじゃんこは取るべきだべというふうなことはやっぱりあるわけです。その辺を踏まえてですね、これに対して町長として今後、いろんな形での料金改正を考えているというふうなこと言っていました、これについて答弁をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） まずはじめに、巡回バスが運行したのが去年の10月でございますけれども、その当時ですね町の情報発信の仕方もちよっとまずかったのかなというふうに思っております。この巡回バス、原則100円でございます。ただのところがある

や有料のところがあるではなくて、原則本来は100円です。こういったPRをちょっと町当局としてはちょっとおろそかにしてるのかなというふうに思っております。

その無料区間があるというのは、議員おっしゃるとおり終点が峰浜の道の駅、ここに行く時だけがそういった料金格差が出るというところでごさいます、それ以外は基本的には100円だと、そういったところをちょっと周知がちょっとし足りなかったのかなというふうに考えているところでごさいます。

ただ一方で、私も先ほど答弁で申し上げましたけれども、燃料高騰の動きもごさいますし、そしてまた、やはり公共交通というのは環境の変化に応じて見直していかなければならないといったところもごさいますので、そういったところを幅広く検討しながら、今後の在り方をしっかりと進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） なかなか料金変えるという直接的な答弁はないですけども、そのほかにですね、巡回バスは町民が支えていかなければ成り立たないわけですよ。だとするとですね、私、途中でも言いましたが、町の中巡回すること、で、町の利便性を高め、今3回、3便というか、3便しか回ってないけども、これをもしかしたら増えればですよ、利用者が増えれば、4便でも5便でもした方がいいわけですよ。逆に増えれば利用者が増えるということにも繋がるわけけども、それによって町のにぎわいというのが逆に増える。例えば能代に行かなくても、わざわざこの辺にあれ何だ、薬王堂と、ニコット。最近青森の人がすごい利用してますよ、薬王堂。能代の薬王堂よりも一番売れています。地元のコンビニも能代よりこっちのコンビニの方が一番売れてるんですよ。最初、角にできたあたりは秋田県一売れたコンビニと言われてましたけど。そのぐらいまず利用価値がある八峰町なわけですよ。ですから、利便性、まあ便数を多くすれば町中で買い物ができるし、地元の人が稼いだ町を町内でぐるぐる回ると。そのほかに人がぐるぐる入って回るというか、それこそにぎわうということが一つ。

それとですね、その無料になる児童の未就学児はただだと。じゃあ小・中学生はどうかという、私は小・中学生にもこれやるべきではないかな。まあできれば高校までやってほしいなと思いますけどもね。ていうのは、これは子どもらにも教育だわけですよ。バスを利用できる、何て言う、知識っていうか、まあ行動力っていうか。今の子どもらはみんな親がどこにでも送ってあってですね、人との会話はできねえし、バスはもちろん、その切符さえ買う方法も知らない。そういうふうな環境では非常に、こう何て

言う、独立心っていうか自主性が生まれないと私思うんで、まあ昔、私が初めてバスとか汽車に乗ったのは小学校五、六年です。その頃に一人でバスを乗るってば非常に怖い思いしながらも、勇気を持って振り絞って、例えば岩館まで行くとかですね、そういうふうなことを自ら体験させる機会必要だなと私は思うわけです。そうすることによって自立心が生まれ、独立心が生まれ、自信にも繋がっていく、そういうことが必要だと思うわけです。で、その際、料金、子どもらですから取るわけにいかなくて100円をそれはただにするから、まずこう行ってみれというそういう機会をやっぱりつくるべきではないかなと。それによって子どもらも大いに満足するわけですし、一緒に同乗した高齢者、バスの中の高齢者も子どもらを見て元気になったりするわけですよ。それこそが地元のにぎわいとかそういう交流に繋がって、町中が楽しくなるんじゃないかなと私は思うわけです。そういうふうなことからですね、私は高校生以下も無料に。で、町内のそういう施設に買い物でもいいし、岩館の海岸に遊びに行くでもいいしですね、そういうふうにご利用してもらいたいと。能代にばかり行かなくても地元を使ってほしいというふうに思っているわけです。そういうことから、子ども、まあ高校生以下の無料ということについての考え方について答弁をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 高校生以下の無料につきましてでございますけれども、今、全体的な人数としては先ほど申し上げましたような、1カ月で延べ933人といったところでございますけれども、実はその内訳までは把握していないところでございます。いずれどういった方々が乗ってる、その小・中学生が乗ってるとか高校生が乗ってるといったようなところも全然把握していないところでございます。そしてまた、こういった方々を無料にするといった場合、また予算も関係してくるところでございますので、いずれそういう環境を全部含めてですね、今後しっかりと検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 11番議員、ほかに質問ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） まあ小出しにして悪いんですがね、もう2つばかり実はあるんですよ。

もう一つはですね障がい者です。障がい者の方乗るのかというふうに聞かれると私も自信ないんですけどもね、絶対いないわけではないなど。もしその小・中学生も含めて

考えるんだとしたら、障がい者も入れておいていただきたい。

それともう一点はですね、今、子どもの出生が1桁台になってしまった。もうこの10年先、もう小・中学校の統合問題までも出ている状況。そうすると、この学校の送迎バスもかなり無駄っていうか、ボリューム的には考えないと駄目なってくるわけですよ。だとしたら、この巡回バスと併せてですね利用できないかというふうな想定も含めて、もうは既に考えていかないと間に合っていないんじゃないかなということをご想定しておりますので、その辺について答弁をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 正に山本議員おっしゃるとおりだというふうに私も思っております。こういったところも踏まえまして、スクールバスと併用できないのか、あるいは例えばですけども、高校までそれを延ばしてやれないのかというところも、まあ検討段階ではありますけども、庁内で指示しているところでございます。まだ具体的に、まあ能代市さんだったり、運行事業者さん、そういったところのとの調整は今後出てくるころではございますけども、いずれにしても学校の統合、そういったところも見据えながら、こちらの運行状況の方につきましてもしっかりと検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 11番議員、ほかに質問ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） 1問目については終わります。

2問目に入ってもよろしいでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） はい、どうぞ。

○11番（山本優人君） 次に、町の魅力の開発の件ですが、私はまずはじめにですね、あまりにも八峰町、まあ観光する施設とか名所、場所が少なすぎて滞在時間がもうほとんどない、滞在する人がいないというふうな状況なわけですね。ですから、まずその滞在できる、見る場所をまず発見する。まあ発見し、つくるっていうか、そういうふうなところを町民こぞって何かこう、おらほの例えばここはすげえいい所だというふうなところ、まあ各自治会が挙げてもらうとかですね、まあ個人的に誰でもいいわけですが、そういうふうなことを一回募集してみたらどうかと。で、それから始めたらいいのではないかなと私は思うわけですよ。それをちょっと少しくオーバーに宣伝していけば、ミニスポットなり、そういうことが出てくるんでないかと。で、そういう箇所をいっぱいつくって、これを今度、何ていうか、宣伝していくと。SNSなり、得意のユー

チューブなりに発信してですね宣伝しておくことによって、八峰町、あそこさ行けば、あちゃこちゃこういうふうなところがあるなというふうには知ってもらうことが大切ではないのかなというふうに思います。

それと一番私、前から要望、議員の皆さんの中では割と携帯とか、このSNSを使って早い世代なので、その時にですね、まだ携帯が早く出た時に、東京にいる八峰町出身の人がいっぱいいるわけですね。で、彼ら彼女らに若干の謝礼を出してもいいですから、それを発信してもらう、そのまあ発信者というか、拡散してもらう、そういうふうなふるさと応援団っていう、ああいうふうなことをほかの方では言っていますけども、そういう人を募集して使うべきではないかな。それによってこう拡散の範囲が広がる。単に町の職員、町のホームページだけで出してもですね、ほとんど見ない。これはSNSっていうのは友達の繋がりで行くわけですから、そういうふうなことをやっていけば範囲が広がるんじゃないかなというふうに思っていますが、それについての、この発信の仕方ということについてはどう考えてますか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 観光PRにつきましては、ちょっと先ほどの答弁とかぶるところもあると思いますけども、いずれ動画発信、あるいは観光パンフレットの見直し、そういったところを検討しながら進めていきたいなと思っております。

また、その新たに東京の人をお願いするですとか、そういった外部の方をお願いするとなると、やはりその予算もある程度必要かなというふうに考えるところでございますので、いずれにしても幅広く検討する必要があるのかなと思っております。

そしてまた、一番最初のいろんなまだまだ掘り起こしができてない観光するところが、スポットがあるんじゃないかということに関しましてはですね、正に私もそのとおりで思っております。また、真瀬の三十釜、非常に有名でありますけれども、まだまだ知名度不足だというふうに思っております。そしてまた、ちょうど町長室にもあるんですけども、滝の間海岸の岩場がぱっと写ってて、ずっとこれ何なのかなと思ってましたら、どうもスフィンクスに見えると。まあ男鹿のゴジラ岩じゃないですけども、そういったところもまだまだ八峰町には隠れた名所になり得るようなところがあるのかなというふうに思っておりますので、今後そういったところの掘り起こしも対応してまいりたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 11番議員、ほかに質問ありませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） あと、歴代町長の悪口を言うわけではないんですがね、町長になると東京での、あれ何と言った、東京の業者の懇談会……企業懇談会とかありますよね。まあ私何回か歴代町長に言ってるんですが、おめ方、ただ懇親会さばかりはまって何して来たったが。人ってどっかの会社と仲良くなって、一つぐらいもう誘致してこえばいいってねえがってしゃべってきたんですがね、まあ今回、まあ町長は、何だっけ、モンベル、誘致はしてるのかどうかっていうところまでは分かりませんが、そういうふうな形で提携をするというふうなこと、非常に頑張ってるなというふうに思うわけですが、今後もああいう企業誘致の際にはですね、ただ懇談会での交流ばかりしてなくてですね、どっかターゲットを絞って、この会社とちょっと下請でもいいですから工場を考えてもらうとかですね、そういうふうなことを是非私はやってもらいたいと思うわけですよ。

それともう一点はですね、やっぱり新しい町をアピールして、まあ八峰町はすごいなと思ってもらえるような事業を入れると。私、特にここの辺でびっくりしたのは、青森県の中泊っていうところあるんですが、ここはですね電子決済を町の中で普及してるとこなんですね。あそこも七、八千人ぐらいの町だわけですけども、P a y P a yというああいうふうな方法で、高齢者の85%がこれで決済してる。ですから、金を持ってこなくてピッと支払うというふうなことをやってる町だわけです。で、そうすることによって逆に今度犯罪が少なくなっていくということで、これはすごいなと。考えられない。85%っていうことは、ほとんど町民全部みたいなもんですよ。ほとんど寝てる人も入れて100%ですからね。いや、これはすごいなというふうなことです、いや、まあそれと同じことすれというわけではないんですが、そういうふうな突拍子もないことで町が脚光を浴びるというふうなこともあるわけですから、それは町長一人だけではなくて課長も自らみんな集めて、いろんな考えないのかなというふうなことを私は期待してるんですよ。まあ前任者を悪く言うわけではありませんが、前の人はずいぶん、課長のことはアイデアは全然期待してないというふうな発言して、愚かしいもんだと。一人ではないでしょうと。やっぱり課長クラスがアイデアを一緒になって論議しながら進めていくべきじゃないのかなということで、そういうような進め方で考えてもらいたいです、いかがでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の再質問に対し、答弁を求めます。堀内町

長。

○町長（堀内満也君） ちょっとその中泊の電子決済につきましては、ちょっと私も把握していませんけれども、アイデアとしては非常にいいもんだなというふうに今聞いてて思ったところでございます。

また、その役場内の話でございますけども、私もいろんな話をこう聞いていく中で、やはりいいアイデアって皆さん持っているところでございますので、当然ながら役場一丸となって、機構改革、あるいは新たな取り組み、そういったところをしっかりと進めていきたいというふうに思っております。

○議長（皆川鉄也君） 11番議員、ほかに質問ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） これで最後にしたいと思いますがね、もう一つ最後に、あわび祭りで使っている大型テント、あれ1基。2基だ。1基800万円するんです。たった1日しか使ってない。私はあれをですね何とか活用したいなと。あれやっぱりイベントのために用意したと私は思ってるわけです。だとすると、眠っておくよりは壊れてもいいからやっぱり使う。そう考えた時に、まあ今、冬間近かに迫っていますけども、冬キャンプ用にあれ、何だ、御所の台の球場、あそこにでも張っておけばいい。周りは何だ、網やればある程度は風は和らげるわけですよ。そういうふうな使い方だってあるし、そうすれば冬のバーベキューできるわけですよ。場所提供する。ああいう景観の中でバーベキューやるってやつも、ひとつ目新しいかなと思うわけですね。そういうふうなことを考えておりますが、ひとつこのアイデアについて答弁をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 非常に斬新なアイデアだというふうに思っておりますけれども、あのテントもですね、なかなか人力で張るには非常に難しい大きなテントでございます。やはり設置にはその設置する費用がやはりかかるところでございます。私もあそこだけで使われてるのはもったいないなと思って、いろんな各イベントを主催する実行委員会の方々にも、こういったテントあるよというふうなPRはしてるんですけども、やはりその設置に大型クレーンが要するとかそういったところでなかなかほかで使われていないような、そんな感じになっているんじゃないかなというふうに思っております。

そしてまた冬場の利用ですけども、あのテントがどのくらいの風速に耐えられるのか、そういったところもまだ私もちょっと把握してないところもありますので、設置の可能

性についてはもうちょっと幅広く私も検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 11番議員、ほかに質問ございませんか。

○11番（山本優人君） ありません。

○議長（皆川鉄也君） これで11番議員の一般質問を終了いたします。

暫時休憩いたします。11時5分前に始めたいと思います。

午前10時51分 休 憩

午前10時55分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に、7番議員の一般質問を許します。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 7番腰山良悦です。通告に基づきまして、大学による町創生について質問いたしたいと思います。よろしくお願ひします。

町は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、少子高齢化や人口減少、農林漁業の振興、空き家対策など数多くの課題に取り組み、それなりの効果が現れている部分もあるが、まだまだ十分だとは言えないと思います。

そこで、これらの課題に取り組むために大学サテライトキャンパスを誘致し、連携することにより、若者の流出を防ぎ、町の活性化、人口流入、産業の振興、教育の向上など創生を図れるのではないかと思うが、町長の考えを伺います。よろしくお願ひします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの7番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。

堀内町長。

○町長（堀内満也君） 腰山議員のご質問にお答えいたします。

腰山議員ご指摘のとおり、町は、少子高齢化や人口減少、農林漁業の人手不足、空き家対策など多くの課題に直面しており、これらの課題解決のため、様々な施策を展開しているところであります。

ご提案の「大学キャンパスの誘致」につきましては、教育・文化水準の向上や産業振興、人材育成、地域コミュニティの活性化など、様々な効果が期待されるものと認識しております。

一方、全国的に少子化が進んでいることに加え、町は大学に対し、学生確保に関する支援や土地等の無償貸与、学生の研修や実習先の確保のほか、設置・運営経費の負担を継続的に行う必要があるなど、難しい課題も多くあると考えております。

このため、町としましては、「大学キャンパスの誘致」を図ることは相当に困難と考えますが、まずは、大学誘致を行った市町村の事例等を参考にしながら、その可能性について研究してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、再質問ありませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） ただいま町長の考えを伺ったわけなんですけど、確かに非常にこう実現するには難しい面が多々あると思います。しかしながら、ただ考えていてそれだけでやらないということは、やはり何と言いますか、先が見えないと言いますか、できればやはりもう少し積極的にやるという姿勢でもって考えてもらいたいと思うんですが、いかがなものでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの7番議員の再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 腰山議員のご質問にお答えいたします。

まあなかなか財政的な課題もありまして、私もその誘致に関しては非常に多くの課題もあるといったところでございます。そしてまた、町としては何もやらないというわけではなくて、先ほどの答弁と繰り返しになりますけども、実際に誘致している市町村もありますので、そういったところの事例をまずは参考にしながら、できるか、できないか、そういった可能性についてまずは研究したいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、ほかに質問ありませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 是非とも町長の若さと行動力でもって頑張っていたいただきたいと思っております。

いずれにせよ、この大学キャンパスを設置するという事は、いろんな面で町の活性化にも先ほど言ったように結びつきましたし、いろんな面で今まで以上の効果が表れると思っております。そういう点で前向きに頑張っていたいただきたいと思っておりますので、どうかひとつお願いして、簡単ですが、これで質問を終わります。どうもありがとうございます。

○議長（皆川鉄也君） これで7番議員の一般質問を終了します。

追加日程第1、議案第96号、工事請負契約の締結についてを議題とします。

当局の説明を求めます。堀内農林振興課長。

○農林振興課長（堀内和人君） 議案第96号についてご説明いたします。

議案第96号、工事請負契約の締結について。

令和5年12月6日に指名競争入札に付した「林道施設災害復旧事業 池の台線1号・2号箇所施設災害復旧工事」について、下記のとおり請負契約を締結するため、八峰町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

1. 契約の目的です。林道施設災害復旧事業 池の台線1号・2号箇所施設災害復旧工事

2. 契約金額です。1億2,452万円。

3. 契約の相手方です。秋田県山本郡八峰町八森字和田表121 大森建設株式会社 八森本店本店長 大森弘さんです。

4. 支出項目です。令和5年度一般会計 11款災害復旧費 2項農林水産業施設災害復旧費 1目林道施設災害復旧費

令和5年12月15日提出

八峰町長 堀内満也

提案理由でございます。八峰町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、予定価格が5,000万円以上の工事にかかる契約であり、議会の議決を要するためでございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第96号について質疑を行います。質疑ありませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） これ1号・2号とあるということは、2カ所に分かれているのを一括で入札したのかという点とですね、あそこは水道管も、水道管ってあったか、あれ何だ、管も走ってらんでねがったっけ。入ってない。

（「池の台線だよ」と呼ぶ者あり）

○11番（山本優人君） 全く違うの、これ。失礼しました。場所、具体的に場所分かるように説明してください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、工事箇所、あるいはその1号・2号の区別あるのか、そこら付近、詳しくご説明を願います。堀内農林振興課長。

○農林振興課長（堀内和人君） 山本議員のご質問にお答えいたします。

場所としましては、八森字物見、大森建設さんよりもうちょっと北側に行った林道となります。で、箇所1号・2号箇所とありますのは、その林道の中の手前を1号、奥を

2号という形で査定は2つ受けてるんですが、合併して発注しております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、討論を終わります。

これより議案第96号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第96号は原案のとおり可決されました。

追加日程第2、議案第97号、令和5年度八峰町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

当局の説明を求めます。田村副町長。

○副町長（田村 正君） それでは、議案第97号、令和5年度八峰町一般会計補正予算（第8号）についてご説明いたします。

令和5年度八峰町の一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,289万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ101億8,999万8,000円とするものでございます。

補正後の歳入歳出の金額につきましては、「第1表 歳入歳出予算補正」のとおりでございます。

令和5年12月15日提出

八峰町長 堀内満也

このたびの一般会計補正予算（第8号）につきましては、物価対応重点支援地方創生臨時交付金のうちの推奨事業メニュー枠の事業費を追加するものでございます。

はじめに、この推奨事業メニュー枠として実施する5つの事業についてご説明したいと思います。

なお、タブレットの方に説明資料を掲載してございますので、そちらをご覧ください。

いただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、まず1つ目の事業につきましては、住民税課税世帯に対して物価高騰の負担軽減を図るため、町内事業所等で利用できる1万円分の地域商品券を発行する事業でございます。

2つ目は、住民税非課税世帯であれば低所得世帯支援枠事業に該当しまして7万円の支給を受けることになるのでございますが、住民税非課税世帯であっても住民税が課税されている人の扶養親族となっている場合は対象外となります。この対象外となる住民税非課税世帯を支援するために推奨事業メニュー枠を活用して7万円を支給するという事業でございます。

3つ目は、離職等により家計が急変し、住民税非課税相当なった世帯を支援する事業でございます。

4つ目は、県との協調事業で障がい者支援施設等を支援する事業でございます。

5つ目は、これも県との協調事業で介護保険施設等を支援する事業でございます。

それでは、議案書の方の6ページ・7ページの方に戻っていただきたいと思っております。

まず歳入でございますが、15款国庫支出金2項国庫補助金1目総務費国庫補助金1節総務費補助金につきましては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のうちの推奨事業メニュー枠に対する国からの交付金ということで、3,143万1,000円を追加するものでございます。

次に、16款県支出金2項県補助金2目民生費県補助金1節社会福祉費補助金につきましては、県との協調事業分として介護保険施設等物価高騰対策事業費補助金132万円、それから障がい者支援施設等物価高騰対策事業費補助金として14万4,000円、合わせて146万4,000円を追加するものでございます。

歳入は以上でございます。

続きまして歳出をご説明いたします。

8ページ・9ページをお開きください。

はじめに、2款総務費1項総務管理費6目企画費につきましては、住民税課税世帯に対して物価高騰の負担軽減を図るため、町内事業所等で利用できる地域商品券を発行する事業分を計上しておりまして、まず10節の需用費のうち消耗品につきましては、事務用品等として3万円、印刷製本費につきましては、商品券を郵送する際の封筒印刷代として13万円、合わせて16万円の追加でございます。

11節役務費につきましては、商品券の郵送代として通信運搬費111万6,000円を追加するものでございます。

12節委託料につきましては、1万円分の地域商品券を1,800世帯分として1,800万円の追加をして、商品券の印刷及び換金に係る手数料として150万円追加し、合わせて八峰町物価高騰対策商品券発行等業務委託料として1,950万円を追加するものでございます。

次に、3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費につきましては、扶養親族の関係で低所得世帯支援枠で対象外となった住民税非課税世帯と、離職等により家計が急変し、住民税課税相当になった世帯へ7万円を支給する事業を計上しておりまして、まず10節需用費につきましては、消耗品としては事務用品費等を1万円、印刷製本費につきましては、確認書等を郵送する際の封筒印刷代として1万5,000円、合わせて2万5,000円の追加でございます。

11節役務費のうち通信運搬費につきましては、確認書等の郵送代として1万2,000円、手数料につきましては、口座振込手数料として1万6,000円、合わせて2万8,000円を追加するものでございます。

18節負担金補助及び交付金につきましては、低所得世帯支援枠の対象外分として125世帯分と、離職等により家計が急変した世帯分として5世帯分、合わせて130世帯を見込み、1世帯7万円を支給することから、価格高騰重点支援補助金、推奨事業枠を910万円追加するものでございます。

3目障害福祉費につきましては、県との協調事業で障がい者支援施設等を支援する事業分を計上しておりまして、まず10節需用費につきましては、事務用品等の購入費として消耗品費3,000円を追加するものでございます。

11節役務費のうち通信運搬費につきましては、確認書等の郵送代として1,000円、手数料につきましては、口座振込手数料として2,000円、合わせて3,000円を追加するものでございます。

18節負担金補助及び交付金につきましては、障がい者支援施設等物価高騰対策事業補助金として入所定員1人当たり6,000円を5人分、それから通所定員1人当たり3,000円を70人分、1事業所当たり4万8,000円を1事業所分を見込み、合計で28万8,000円を追加するものでございます。

6目介護保険費につきましても、県との協調事業で介護保険施設等を支援する事業分

を計上しておりますが、まず10節需用費につきましては、事務用品等の購入費として消耗品費2万6,000円を追加するものでございます。

11節役務費のうち通信運搬費につきましては、確認書等の郵送代として3,000円、手数料につきましては、口座振込手数料として3,000円、合わせて6,000円を追加するものでございます。

18節負担金補助及び交付金につきましては、介護保険施設物価高騰対策事業補助金として入所定員1人当たり9,000円を241人分、通所定員1人当たり3,000円を61人分、1事業所当たり4万8,000円を6事業所分を見込み、合計で264万円を追加するものでございます。

説明は以上でございますが、何とぞよろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。終わります。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第97号について質疑を行います。質疑ありませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 少し聞きたいと思います。

障がい者の物価高騰で1事業でありますけれども、虹のいえなのか、それとも就労支援A型の施設なのか、その区分けと、それから介護保険の6事業所、これは特養ではなくてグループホームに6事業になるんでしょうか。そこら辺ちょっと教えてください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。石上福祉保健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

前段でありました障がい者支援施設等の対象施設の件の確認だと思っておりますけれども、障がい者の入所施設はグループホーム、それで障がい者通所施設については、さくら園、ハッピーマッシュ、ハッピーマッシュ第2事業所。訪問相談系の施設につきましては、秋田虹の会という形になります。

実際にはですね、入所施設については先ほど副町長からご説明あったとおり6,000円、通所施設については3,000円という単価で定員に合わせて支給する予定になっております。

続いて6目の介護保険の施設に対する事業につきましては、入所施設が特別養護老人ホーム海光苑、松波苑、松波苑ユニット、軽費老人ホーム、合わせてグループホーム、こちらにつきましては、グループホーム花梨、ふる里、松峰園、水沢の里、親孝の里、

合わせて海光苑ショートステイ、松波苑ショートステイの全ての入所施設の定員枠という形の定員になります。241名。

続いて通所系の方ですけども、こちらは特養施設の海光苑、松波苑、松峰園、グループホーム松峰園、こちらの通所定員枠が61名分。

訪問系になりますと6件、町の社会福祉協議会、訪問介護季の庭、訪問介護サービスおだやか、介護松波苑居宅介護支援事業所、社会福祉協議会居宅事業所、水沢居宅支援事業所、以上6件という形での回答となります。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） ちょっと聞いただけではちょっと分かりませんので、この資料をちょっと出してもらいたいと思います。

それと、八峰町からほかの施設に、能代に通ったりとか施設に通ってる人たちもいるんですけども、これはあくまでも八峰町に通所している他市町村からの人たちもハッピーマッシュとかかなりいるんですけど、それも全部合わせてってということなんですね。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。石上福祉保健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

こちらの事業は、先ほど来ご説明ありましたとおり県と一緒にやる事業でございます。市町村に所在している事業所に対する光熱水並びに食料費の物価高騰部分に対する補填、支援する給付金となります。ですので、八峰町内に事業所がございます施設の運営費の部分で、それぞれの定員に合わせて支給するという事業でございますので、利用者がこちらの住民もしくは能代市からこちらの施設を使っている住民という形ではなくて、あくまで所在市町村の登録事業所の登録定員ということで支援する事業でございますので、ご理解いただければと思います。

回答は以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） 低所得者支援のところ125世帯と説明資料の中にあるんですが、説明で130世帯って私さっき聞いたんですがね、これ変動があるんでしょうか。

それと、この該当者が既に決まっているのであれば、この基準の日というのはいつなんでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。田村

副町長。

○副町長（田村 正君） 山本議員のご質問にお答えいたします。

説明の中で130世帯というのは、ここの低所得者の部分の125世帯と、次の家計のそう
うです、その5世帯と合わせての130世帯、予算の方では、そういう措置をしていると
いうことでございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに。

○副町長（田村 正君） すいませんでした。基準日は12月1日というふうになってござ
います。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） 関連しますけども、この3番の家計急変世帯の把握、把握方法で
すね。5世帯見てますが、その方法をお知らせいただきたい。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの6番議員の質問に対し、答弁を求めます。石上福祉保
健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） ただいまの菊地議員のご質問にお答えいたします。

こちらは住民税というものは6月1日の算定基準で賦課されますので、1月1日に住
所があるところで税が算定されて、その後、住民税は6月1日の基準日によって八峰町
から納付書が交付されます。1月2日から、今、副町長から説明あった12月1日までの
住民異動等で転出入された方並びに実際に転入されて前住所地で課税されている所得が
分からない方がございますので、その方と、併せて生活、まあこのコロナ禍でですね失
業等が想定されて、実際に完全に収入が途絶えたとかっていう形で、令和6年度が非課
税相当と認められるような収入要件が見込まれる人から申請をしていただくという形で
ご案内を差し上げます。ですので、あくまでもこれは想定の数値ですので、確定的なも
のではありません。で、まあ当然失業等ですので、国民健康保険等に参加されてくる
方々もしくは雇用保険を受給されてる方々が対象となりますので、そういった方々にご
案内は差し上げるつもりでおります。

回答は以上となります。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 討論ないようですので、討論を終わります。

これより議案第97号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。したがって、議案第97号は原案のとおり可決されました。

日程第4、発議第11号、安全・安心の医療・介護実現のために人員増と処遇改善を求める意見書を議題とします。

発議案の朗読は省略いたします。

お諮りします。ただいまの発議については、八峰町議会会議規則第39条第2項の規定により説明を省略し、質疑も省略したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。

朗読、質疑を終略し、討論を行います。討論ありませんか。11番山本優人君。

○11番(山本優人君) 私は、この発議に反対いたします。

はじめに、医師、看護師等の増員でありますけども、そもそも資格者そのものが不足しているのに増員すればいいということは、なかなか無理な話を要求しているということ。

それから、この後段にあります労働者の賃金を支援するという事は、上げれということでもあります。一方で給料を上げ、最後に患者・利用者負担を軽減するという事、相矛盾すること書いてあります。給料を上げるということはですね、自らの医療費の高騰を招くということに繋がるわけでありまして、むしろ利用者の負担が増えるわけでありまして、この点について私は矛盾するという意見書については反対いたします。

○議長(皆川鉄也君) ほかに討論ありませんか。8番見上政子さん。

○8番(見上政子さん) 賛成討論を行います。

先ほど反対討論の中で、給料を上げれば利用負担が増える、これはとんでもない話です。これをならないためにも、国の方で支援していかなければならない。給料を上げて私たちの負担が増えるというのであれば、大変な世の中になってしまいます。これが福祉の仕事だと思えます。

命を守る医療制度のケア労働者の賃金は、政府が介護処遇評価書を行って少しはアップされました。しかしこれは、アップされたのは看護師が35%であるために、医療全体が非常にこの団結力が弱くなって、賃金に格差ができたということでもあります。で、やはり施設全体のケア労働者のアップをやっていかないといけない。まあそのケア労働者のほとんどは女性であって、低賃金で働かざるを得ないという状態になっています。

介護施設では二交代制がほとんどで87%です。また、16時間勤務、二交代制の16時間勤務ってというのが78.8%。これは本当に法律で決めなければならないと思います。公の機関であっても16時間働いて二交代制、これは非常に厳しくてつらい仕事であったということを公の男性から、働いていた人たちから聞きました。そのためには、何かあった時にはもう近くに人たち、看護師とかいろんな人たちも待機して、何かあったらすぐ駆けつけるようなそういう体制になってると言いますけれども、それでは本当に安心して働くことができません。そのためにも法でしっかりこのことを規制していかなければならないと思います。

報酬を値上げ、介護保険の診療報酬を引き上げてと同時に患者・利用者の負担を軽減すべきです。

地方から国へ物申す、このいい機会を利用して是非議会でも要望をしていくべきであります。賛成いたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ないようですので、これで討論を終わります。

これより発議第11号を採決します。この採決は起立で行います。本案に賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（皆川鉄也君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

関係機関に意見書を送付いたします。

日程第5、常任委員会の閉会中の継続審査について議題とします。

総務民生常任委員会委員長及び教育産業建設常任委員会委員長から、付託中の陳情第6号から陳情第9号について、八峰町議会会議規則第74条の規定により、閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りします。各常任委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とするこ

とにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

次回議会定例会までに審査し、報告をお願いします。

日程第6、議会運営委員会の閉会中の所掌事務の調査についてを議題とします。

議会運営委員会委員長から、所掌事務のうち、八峰町議会会議規則第74条の規定により、次期議会会期日程等、議会の運営に関する事項について、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。したがって、委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

日程第7、常任委員会の閉会中の所管事項の調査についてを議題とします。

各常任委員長から、八峰町議会委員会条例第2条に規定する所管事項について、八峰町議会会議規則第74条の規定により、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。各常任委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。したがって、常任委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

これで本日の日程は全部終了いたしました。

会議を閉じます。

これをもって令和5年12月八峰町議会定例会を閉会します。

ご協力ありがとうございました。

午前11時36分 閉 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 皆川鉄也

同署名議員 7番 腰山良悦

同署名議員 9番 須藤正人

同署名議員 10番 門脇直樹